

みやさぽ通信



VOL. 5

2018年1月28日
<http://www.miyasapo.net>

NPO法人 みやっこサポート

〒662-0034 西宮市西田町 6-4 e-mail: kuma@miyasapo.net
TEL (0798)81-5301 FAX (0798)81-5302



新春のお慶びを申し上げます



皆様におかれましては、平素より当法人の活動へご理解ご協力いただき心より御礼申し上げます。本年も、皆様のご厚情に応えるべく、目標である地域福祉への貢献をさらに進め、実践してまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年より、これまでに開催してきた交流支援『こぞッテ』等の活動を隣のレンタルスペースに移し、より多くの方々にご参加いただけるようになりました。そして、活動の根幹ともいえる情報サイトにつきましては、3月中に第1フェーズを公開すべく構築を進めており、当初の計画より大幅に遅れておりますが、細やかで正確な、より市民の方々の役に立つ情報になるよう取り組んでおります。

さて、この度の『みやさぽ通信』も、由緒ある『廣田神社』のご宝物のお話しと絵。そして、クライマックスを迎えた『西宮のモビール作家いろけんさん』の物語。生活に欠かせない情報『年金のおはなし』など、“にしのみや愛”あふれる内容となっております。このような素晴らしい作品を、ボランティアで提供いただいている皆様に、この場をお借りして心から御礼申し上げます。



写真は、2年前に講演をお願いした時の、NPO法人MAMIEの安藤美紀さんと、今年引退する聴導犬レオン君です。彼が仕事をするこの真剣な姿に、私は何度も励まされました。

今年も多くの方々との連携を深め、メンバー同力を合わせ、レオン君に負けないよう頑張ってみます！

NPO法人みやっこサポート
理事長 中島 恵美



特定非営利活動法人
MAMIE マミー

MAMIE は、聴覚障害への理解と聴導犬を広める活動や、障がいのある子どもが学べる環境を作り可能性を育てる活動などを行っている団体です。代表の安藤美紀さんは、全国を飛び回り、講演などで啓蒙活動を行っておられます。

これまでの活動

期間：H29(2017)年4月～10月

手話でコミュニティ！ by 岡本かおり先生 (月2回月曜日 Live 教室&ビデオ教室)

相手にどのように表現すればイメージが伝わるか？動きや形で表現したり、毎回違った題材で、楽しく和やかに真剣に取り組んでいます。手話を通して日本語の勉強にもなっています。(参加：のべ49名)



学習スペース みやサポ・イングリッシュ by 木谷尚代先生 (毎週水曜日 午後5:00～8:30)

中学生対象の「無料英語教室」。「英語の授業がわからない」から「英語の勉強が楽しい」が最初の目標。子ども達の自信に繋がれることを願って、継続して活動しています。(参加：のべ35名)



健康太極拳 by 松田淳子先生 (第2・4水曜日 午前10:30～12:00)

緑の中、老いも若きも参加できる太極拳。「参加すると元気になる」という声もいただいています。(参加：のべ61名)



みやサポ RUNNING CLUB by 谷口康雄コーチ (月1回土曜日 午前9:00～11:30)

走るのが大好きなメンバーが集まり、谷口コーチがジョークを飛ばしながらも、真剣に楽に走れるフォームを指導。昨年は、メンバー全員が「にしのみや甲子園ハーフマラソン」に出場！(参加：のべ26名)



韓国語でコミュニティ！ by 山城淑子先生 (第2・4火曜日 午前10:00～11:00)

一番人気の語学コミュニティ！ハングル文字の基礎から、韓国のアイドル、料理、文化の話題や、韓国料理を食べに行くなど…韓流コミュニティです！(参加：のべ63名)



キミコ方式絵画教室 by 勘里貞子先生 (毎月1回不定期)

スイカ、エノコログサ、もやし、毛糸の帽子と身近にあるものを描くキミコ式絵画。色作りから始めて、誰もが絵を描くことができます。(参加：のべ20名)



人間関係講座 by 小野澤みさを先生 H29.7.24 (月)

親と子のコミュニケーションを中心に、経験のお話を交えながら、どうコミュニケーションを取れば良いかを学びました。



おいしい防災塾 by 藤原加代子先生 H29.7.9 (日)

お菓子のポシェットの非常食を作ったり、子どもが自分で考え行動できるように防災を学びました。



ありがとうございました！

☆中国語でコミュニティ
by 原田奈津美
月に2回、トラベル中国語など、実践的な中国語を学んだ教室は、2017年11月まで開催されました。



☆英語でコミュニティ&
英語でミュージック
by Mr.Charlie Brown
月に2回、音楽や色んな題材を使い、英語で会話を楽しんだ教室は、2017年11月まで開催されました。



みやサポからのお知らせ

《NPO 法人みやっこサポートの法人事務所・活動拠点が変更になりました！》

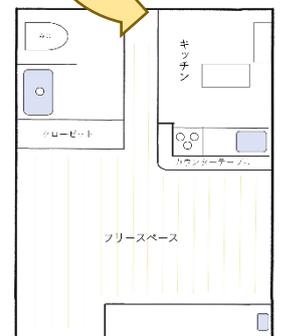
◆法人事務所 ⇨ 『つどって西田公園前』
西宮市西田町 6-4 (夙川サンらいふ)



◆活動拠点 ⇨ 『レンタルスペース SUN-TA』
西宮市西田町 6-3
ホームページ：https://sorena.club



～教室やイベントはこちらで開催いたします～



《新しい活動のご案内！》

子育てトーク開催！

毎月未就学児の保護者の方で、子育てのことや、お子さんのことで心配がある方、子育てのことなどでお話をしたい方が集まって、美味しい生豆焙煎珈琲や紅茶を飲みながら、会話を楽しむ茶話会です。

日 時： 毎月第4土曜日 ※2月はお休みします

場 所： レンタルスペース SUN-TA(さんた)

西宮市西田町 6-3 夙川サンらいふ

参加費： 300円(飲み物、お菓子代)



にしのみや子ども食堂OPEN！（平成30年2月から）

毎週木曜日に『レンタルスペース SUN-TA』で、『にしのみや子ども食堂』がOPENします！

毎週月曜日に門戸で『にしのみや子ども食堂』をされている、特定非営利活動法人 BrainHumanity さんが、こちらで2店舗目の子ども食堂を開かれます。NPO法人みやっこサポートも、子ども・子育て支援の一環として、お手伝いさせていただく予定です。



みやっこのなかま

モビール作家 いろけん

《プロフィール》 イラストレーターとして活躍中に偶然出会ったモビールに衝撃を受けモビール作家に転身。日本のモビール作家の第一人者。西宮在住。



イラストレーターとして活躍していたいろけんさん。スランプにはまり、逃げるように花の都東京から大阪に戻った！モビール作家への転進裏話をいろけんさん本人が語ります。

『出会いと別れは突然に…』

雑誌のイラスト連載とかで人間観察日記みたい
に人を描くことを10年くらいやってたんです
が、ずっと平面をやってると飽きてくるんですよ
ね。イラストの人を、跳んだり跳ねたり歩いたり
走ったりと動かしたい欲求がふつふつと出てき
て、パソコンでアニメーションを作ってみたり、
パラパラ漫画を作ってみたりいろいろやってみま
した。けどなかなか思う動きにはならなくて、
悶々としながら仕事をこなしていたときに、すご
く好きなミュージシャンのライブに行っただ
す。ライブ会場の吹き抜けの空間に、高さ4~5
メートルぐらいの高さから吊られた紙の白い鳥が
何十羽と揺れていたんです。壁にはその影が映っ
ていて、「平面の紙を針金で吊ったらこんな不思議
な動きをするのか！」って驚きましたね。もうそ
のことで頭がいっぱいになって、好きなミュージ
シャンの音楽も全然耳に入って来ませんでした。

そのライブが終わってすぐに、そのとき連載を
してた3誌の出版社に「今月号で辞めます」って
電話しました。それが10年くらい前で、モビ
ール自体知られてなかったの、「モビール作家」と
いう肩書きを作ってみんなに面白がってもらおう
とやり始めたんです。それに、モビールならイラ
ストレーターとして自分が今までやってきたこと
を全部表現できると思ったんです。イラストはひ
とコマの中に起承転結があるんですが、モビ
ールの場合、位置関係は変わるけど、モチーフ自体は
平面で吊ることで動いたりストーリー性を出した

りできるんです。けど反対に、モビールでやっ
てることは平面に落とせないし、平面に落とすと
動かない。「動く」か「動かない」かというところ
で決定的に違う。だから「イラストはもう描きま
せん！」って切っちゃったんです。

それから作り方とかいろいろ調べたんですけ
ど、当時どこにもモビールの作り方とか資料がな
くて、北欧の大きなメーカーのモビールが吊って
ある雑貨屋さんを探して見に行きました。天井か
ら吊ってあるサンプルをこっそり触って、紙の厚
さや針金の太さを覚えて、その足で材料を買いに
行き、似たようなものを探しては作り、また行っ
ては作りを繰り返してました。でも、作った作品
を自作のホームページで売ろうとしても、「モビ
ール」って文字を検索する人がいないのでアクセ
スもないし全然売れません。人に見せようと個展を
開いたりしましたが、最初の1~2年くらいは全
く手応えもなく、ただただ作るだけでした。作っ
た作品を持って行商でもやろうかと地図まで作っ
たんですが、さすがに嫁に止められました。

『さらなる出会い！』

そのころ、たまたまモビールの話をした人が地
元のフリーペーパー“TOMOMO”の方で、そ
の取材がきっかけで、ちょっとずつ西宮のフリー
ペーパー“阪神リビング”や“シティライフ”で
取り上げられるようになったんです。それと、雑
貨屋さんとかに営業をかけて少しずつ置いてもら
えるようになって、東京の雑貨屋さんに『北風と
太陽』というモビ
ールを一つだけ置
かせてもらって
いたのが、ある番組
のディレクターの
目に留まったん
です。それが昔、土
曜にオセロが司会
をやってた関西発



全国ネットのテレビ番組『知っとこ』で、特集してもらったことになったんです。

実は、モビールを製作し始めて、いずれ『知っとこ』には絶対出たいと思ってたんです。関西の番組だけだとすごく垢抜けてて、情報番組としてしっかりしてて、立派なゲストも東京から来るし、カメラマンの映像の取り方がめっちゃうまくて、「うちのモビールも三割増しはええように撮ってもらえる！」って、実はずっと内々で言い続けてたんです。それがほんとうに『知っとこ』で特集してもらえることになって…。番組の放送が始まったとたんダ〜って注文のメールが入ってきてもうすごかったです。パソコンに注文メールきたら転送でスマホに届くようにしてたんですが、もうスクロールができないんですよ。メールの着信音をマリオゲームのコイン取ったときの「チャリン」にしてたんだけど、小銭がたまっていくみたいにずっとチャリン♪チャリン♪音がして…ひとり1個じゃなくて4個も5個も注文してくれて、2日で注文が千件超えました。8月1日が放送だったんですけど、それからほぼ24時間ずっと作るみたいな状況になって、親戚一同、友達まで呼んで発送作業とか手伝ってもらって、最後の出荷ができたのが年末でした。きっかけは『北風と太陽』のズラが跳んでるやつ一個だったんですけど、それからいろいろな取材が来て、テレビや雑誌、新聞に載るようになったんです。

『今だから言える…成功の影に秘策あり!』

2009年の「知っとこ」のスタジオで、ゲストの中尾彬さんにモビールをめっちゃ褒めてもらって大ヒットに繋がったんですが、実はこれ計算なんです(笑) このときスタジオで飾ったモビールは、本当はVTRだけに出てくる予定だったんです。「二日間取材してVTRを撮るから、ゲストとMCのモビールを作ってほしい」と言われたんですけど、(取材の日までに)「間に合いません！」って言ったんです。「放送日にはなんとかぎりぎり間に合わせて、スタジオに直接持って行く」ということで了解してもらって、紹介VTRが終わってから、モビールだけはスタジオで直接いらしてもらえるように仕込んだんです。VTRの中に出てきても、その他にもたくさん出てくるのであまり

インパクトがないと思って…。影響力のある番組だったので、せっかく出られるならどうしたら一番よく映るかも考えましたね。それが見事に当たって(笑)

それと、他に日本に作り手がいなかったというのがタイミング的に良かった。「これモビールです」って出したら「これがモビールなんや」ってみんなが思ってくれる時代で、やりたい放題やってきました。北欧の人が見たら怒るかも知れませんが、でも今は、「これが日本のモビール」と言ってもらえているので…。

モビールを使ってやりたいことがどんどん出てきているので、それからは「挫折」も、「やめようかな〜」と思うこともないです。「モビールで人を楽しませる」、これが自分らしく、祖父や父母から受け継いだお笑い芸人の血なのかなって感じるんですよ。〜完〜



いろけんさんのモビール作家としてのサクセスストーリーいかがでしたか？モビールと出会い突然暗いトンネルから抜け出したかのように思われたのも束の間、全く作品が売れない日々と脱出！面白いアイデアを思いついては楽しそうにコツコツとモビールを作っているいろけんさんの姿が目



浮ぶようです。最近では、家族間で使えるLINEスタンプ「父・母・息子・娘」パージョンなどのデザインも手がけられていて、まだまだ進化し続ける「モビール作家・いろけん」さんから目が離せませんね。

前回、年金には大きく分けて3つの種類があることをお話ししましたが、今回は、そのうち「老齢年金」と「遺族年金」の2つの年金についてお話ししますね。

「年金は年を取ってからもらうもの」というイメージをお持ちの方が多いと思いますが、それが、「老齢年金」なんです。

「遺族年金」というのは、一家の大黒柱が亡くなったときに家族がもらう年金です。

☆老齢年金について・・・

老齢年金には、「**老齢基礎年金**」と「**老齢厚生年金**」があります。老齢基礎年金は、国民年金や厚生年金保険などに加入して保険料を納めた方が受け取る年金です。老齢厚生年金は、会社にお勤めし、厚生年金保険に加入していた方が受け取る年金です。どちらも原則として65歳から支給されますが、サラリーマンだった方などは、年齢によっては65歳になるまでに、特別支給の老齢厚生年金が支給される方がおられます。どちらも、保険料を納めた期間と免除された期間とが通算して10年間以上あることが必要です。

☆遺族年金について・・・

遺族年金にも、「**遺族基礎年金**」と「**遺族厚生年金**」があります。遺族基礎年金は、「子（原則的には高校生まで）のある配偶者」または「子（同）」のみが受ける年金ですので、子がない場合は対象とはなりません。遺族厚生年金は、配偶者、子、父母、孫、祖父母が受けることができますが、妻以外は一定の条件（年齢等）があります。また優先順位が高い方のみが受けることができ、次順位以下の方は受けることはできません。

☆老齢年金と遺族年金の両方が受けられるとき・・・

公的年金では、一人一年金が原則です。ですので、65歳までは老齢年金と遺族年金のどちらかを選んで受給します。遺族年金は非課税、老齢年金は所得税の課税対象となるので、税金の金額を考慮して選ぶことができます。65歳以上になると、原則的には自分の老齢年金を受け取ります。たとえば、もともと遺族厚生年金のみを受けている方が、65歳になって自分の老齢基礎年金を受け取ることができるようになった時は、両方を全額受けることができます。サラリーマンだった方などが、老齢厚生年金を受け取ることができる場合は、まずは老齢厚生年金が優先して支給されることとなります。老齢厚生年金より遺族厚生年金の方が高い場合は、その差額が遺族厚生年金から支払われることとなります。老齢厚生年金の額の方が遺族厚生年金より高い場合は、遺族厚生年金は全額支給停止となります。

☆さらに遺族年金を受ける方が65歳以上の「配偶者」の場合・・・

父母や祖父母などの遺族厚生年金を受けている方の場合は、上記の通りですが、夫もしくは妻の遺族厚生年金を受けている方が、65歳になり、自分の老齢厚生年金を受け取ることができるようになった時は、次のどちらか高い方の額が自動的に決定されます。

1. 遺族厚生年金
2. 自分の老齢厚生年金の1/2+遺族厚生年金の2/3

この場合でも、まずは老齢厚生年金が優先して支給され、差額があれば、遺族厚生年金から支払われます。結論として、遺族厚生年金と老齢厚生年金の両方が全額もらえるわけではないので、受ける額はほとんど変わりません。公的年金は、数年ごとに改正されているため、大変複雑になっています。まずはご自身の老齢年金が、いつ、いくら支給されるか、ご家族が亡くなった場合や障害が残った時にどんな年金がもらえるかについて、おおまかに知っておきましょう。

廣田神社には「劍珠（けんじゅ）」といわれるご宝物が伝えられています。水晶の玉で、「劍珠」という名の珠の中には、小さな劍があるように見えます。古い錦の袋に入れられ、黒漆塗の小さな社殿形の厨子に納められています。神社のホームページはこの玉の由緒について次のように書かれています。

『日本書紀』仲哀天皇2年（193）の条に、「神功皇后が関門海峡長門豊浦の津に泊まり海中より如意珠（こころままのたま）を得らると見ゆるも是なり」とあり、劍の形の現れたることから、劍珠と称された現存する日本最高最古の如意宝珠です。八幡大神（應神天皇）・神功皇后に戦勝を授け、高野山を鳴動させた神通の靈宝として著名です。

廣田神社は神功皇后が新羅での戦の帰路、武庫の廣田に天照大神の荒魂を鎮めるためお祀りされたと『日本書紀』にあります。「劍珠」はこの戦の途上、皇后が海中から得られた靈験あらたかなものとして伝えられています。

現在の劍珠が創建当初から廣田神社に伝わるものかどうかはわかりません。けれども現在の西宮神社（通称：えべっさん）の社域一帯に、西宮神社ができる以前から存在した廣田神社の南宮に、古来より由緒ある玉が存在したことは、数々の記録のなかに見ることができます。

古くは奈良時代（7世紀後半から8世紀頃）に成立した『万葉集』に「玉映やす武庫の渡りに天づたふ、日の暮れゆけば、家をしそ思う」という歌があり、西宮を現す武庫の修飾語に「玉」という言葉が使われています。また平安時代の終わり頃（12世紀）に巷の流行歌を編纂した『梁塵秘抄』に、「浜の南宮は、如意や宝珠の玉を持ち、須弥の峯をばかいとして、かいの産みにぞ遊ぶたまふ」という歌が載り、



『南宮神社』 絵：足立 明

如意宝珠の玉が南宮にあったことがわかります。さらに今は廃曲になっていますが、能に『劍珠』や『西宮』という演目があり、神功皇后と龍神の靈験あらたかな珠の話について演じられていました。

「劍珠」に関する不思議な言い伝えには比較的新しいものもあります。慶安年間（1648-1652）に「劍珠」が盗難にあいます。玉工が玉を割ろうとしたところ、家が鳴動するようになりました。恐ろしくなったため、玉を高野山の千住院谷に捨てたところ、今度は高野山が振動し玉が光を放ったといいます。そのため僧侶が搜索し、劍珠と確認し、西宮に返却したというのです。この奇譚は享保十二年（1727年）に書かれた『広西両宮記』に記されます。

かつて「劍珠」は廣田神社の南宮に置かれていました。南宮は廣田神社の摂社で、今も西宮神社の南門の東側に小さなお社が建っています。南宮については、社殿の地下には埋められた龍穴があったとか、天の真名井という井戸があったとか、謎めいた諸説が語られます。今はあまり知られていませんがこの不思議な「劍珠」は、明治四年までは他の宝物とともに毎年七月七日に西宮神社で虫干しのため拝殿に陳列されていたと同社の宮司であられた吉井良秀氏が著書『老の思ひ出』（1928年）のなかに記されています。

マンガ『みやっこくまさん』で知るNPO



【会費・寄付金のお願い】

～NPO 法人みやっこサポート正会員・賛助会員の皆様、新規加入の皆様へ～

2018年も、応援、ご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

〇お振り込みの場合：郵便局、銀行どちらかお選びいただけます。

郵便局：記号14330 番号89140031

NPO法人みやっこサポート（エヌピーオーハウジンミヤッコサポート）

※他銀行より振込む場合は

店名：四三八（ヨンサンハチ）店番：438 普通預金8914003

銀行：三井住友銀行 西宮支店 普通預金8719542

NPO法人みやっこサポート 理事長 中島 恵美

（エヌピーオーハウジンミヤッコサポートリジショウナカシマ エミ）

◎ 振込用紙には、必ずご本人氏名・住所・電話番号をご記入下さい。

◎ 会員希望の方は、必ず会員申込みをお願い致します。

〇現金でご持参いただく場合は、平日火曜から金曜の朝10時から午後4時の間に、事務所までお越しください。どうぞよろしくお願いいたします。